

最近電報

●祖國衆議院議員 總選舉報

【東京廿二日電】現在の開票の結果は民政黨七九、政友會四四、労働黨三、其他八票、片岡直温氏落選し、堀切東京市長當選すと

【東京廿二日電】現在開票の結果は民政黨三九、下院に於て絶対多数を占む。解散前の民政黨は一六七であり、政友會は二二〇であつたが開票の現在は三三八となつてゐる。其他は明正會、六、社会民衆黨二、農民黨二、労働黨二、其他六である。因て、ロンドン軍縮會議にはた

【東京廿三日電】開票は未だ結果に至らず現在發表總數四六六中民政黨二六一、充分絶対多数を占めた

【東京廿三日電】民政黨二七三人を占む政友會一七四人此の差九九人

政友會は六四人を失つた労働黨一、獨立農民黨一、社会民衆黨五(其他九)

▲民政黨 二七三人
政友會 一七四人
斯くて總選舉の幕が閉ぢられ

昭和五年二月二十五日
外務省來電 (在パウルー領事館接受)
總選舉ノ結果

民政黨 二七三
政友會 一七四
其他 一九

●伯國金塊の北米着

【紐育廿二日電】伯國金塊廿万ドル、悉なく入庫。

●農老下宿帳

【ローマ廿二日電】来る四月二十四日より、國民農業シンヂケート中央局は、伊太利農家中齡六十五歳以上の老農者には國民下宿者としての下宿帳を下附する由。

●佛國新内閣組織

佛國タルブ内閣倒れ、シヤウラン内閣組織された。

●佛國新内閣倒る

佛國シヤウラン内閣が、下院に不信任され、一週間足ら

誰か海軍縮會議は減したと言つたさうだが、決して「ビチ」を生きて居るよ。世間では英米日の三國會議なんて云ふが伊佛兩國委員もまだキビクして間違ない「五國軍縮會議だ」と

【東京廿六日電】總選舉後臨時議會は来る四月廿一日より召集向ふ三週間開會さる

【ロンドン廿六日電】海軍縮會議北米全權スチムソン氏は強烈なグリップにて重態の由

▲タフト翁危篤
【華府廿六日電】前北米大統領ウイリアム、タフト翁は危篤に陥つた。

●獨乙の失業者數
【伯林廿六日電】獨乙中の失業者數は現在二百二十九万人と計上されて居る。先週の登錄によれば三十万人増加した事になる。

●ヘールマン 博士逝く
【伯林廿六日電】現ギエセン大學教授ヘールマン、グオン、イェリッング理學博士は逝去した。博士はパウリスタ博物館に二十四年間博物館長をして居た人である。享年八十歳。

▲ブラチエラ殖民地支配運輸の後釜に同じ信州者の矢崎を据ゑかけて其地殖民に反對噴つて梅谷専務長野人と惡縁未だ盡ずかな。

▲矢崎を据ゑるより北原を据ゑてやれ、その方が眞んと地價造だよ。

▲タフト翁の危篤さる。まさか日本移民入國禁止の恨みでもあるまい。

▲有吉大使の後椅子に現西班牙の太田爲吉公使がとネランダは嘘になるか。

▲序でに荒井金太さんも来るさ

▲と云つて現在の縫田さん等をおろそかにする譯ぢやない、金太さんは「シノマ」で……い。

▲中島總領事功名を急ぐ、まさか先が短かい譯でもあるまい。

▲一雨毎に聖州の秋が聞かまる菊が着出した。

鳥類部創設
二月二十五日を以て、ルライル、ブラジレイラ協會に、鳥類部が創設された。

斯くて、聖州の鳥類が、人間の無智横暴と、他動物よりの迫害が、幾分つゝ寛和される事が創められる。

電報到來
二月二十六日 日本淀橋發
ニテ當館氣附佐藤「ツヨシ」宛電報到來ス心當リノ者ハ至急當館ニ申込マレ度シ
在パウルー

反響
▲ロンドン海軍縮會議は殺人器縮少會議か殺人費縮少會議か疑はれ出した、何んやらモウ一度太平洋の真中央で真劍勝負をやつて見たら殺人縮少會議にならうに。

▲祖國總選舉の結果民政黨が二三に膨張した緊縮政策もおしまいである。

▲伯國大期大統領選舉日明日である。革命湧發云々の噂もあるが、まさかね。

▲祖國臨時議會は四月二十一日から向ふ三週間どうなる、在ノ線三七五金融請願團も猛請願の時期到來だ、ヘコ垂れずやらじやこて。

御披露!
明るくて清潔で居心地のよい「バー」が出来ました。是非お越し下さい。

二月一日より開店
ビビラ、カフェ、其他各種新しい飲食料品を豊富に準備致します。

永遠に御愛顧を——
リンス公園電話二二〇
別府しげ子

Bar Oriental
Caixa, 91—LINS—Tel. 11

日本帝國領事館
御披露!
明るくて清潔で居心地のよい「バー」が出来ました。是非お越し下さい。

Machina S. João
J. Santos Gonsalves
Estação Guayçara ~ L. Noroeste

精米及珈琲精 撰開業

グワイサラ町に於て三月一日より精米及珈琲精撰開業誠實勉勵を旨として従業員候間御引立下され度此段廣告仕候也

尙雜穀仲買倉庫業をも兼營仕候間御利用下され度殊に日本人諸彦の御厚意を乞ひ珈琲其の他の發送總ての手續には便利相計申可候

北西線グワイサラ驛
ぜ、サントス ゴンサルベス

暮の嵐

果南山人

時代—萬延元年
人物—松川 無極齋(五八)
(前名 山田佐十郎)
一子真十郎(二二)
優姿の美男
稲村 重藏(一八)
身丈抜群の若武士
お小夜(二〇)
姉

佐十郎「うむ、抜きを...」と立上り重藏を
大事に使へば末長き命を粗末
に致さず、怪我なき中に引取
られい」と行きかける
重藏「黙れ、ツは是れまで愛さ
ねん爲め、此處で會ふたが百
年目、ツ勝負致せ...」
お小夜「うむ、あのこ、な小
つば奴が、左程いらざる命な
らこれでも喰へッ、ひねり抜
打ちの一閃...」と應へ火花
重藏「おッ、ツ」と應へ火花
を散らして受け流す
松川「八破の魔劍、引けば正面
受れば胸へ一文字、が相手も
さる者空を打たす。暫くは虚々
實々、双方矢聲もろ共に秘術を
盡してわたり合ふ
重藏「ぬいッ、ツ」と繰り込ん
だ一閃に確かな手懸へ
佐十郎「うむ、重藏どの無
極秘劍、し、しかと會得な...
い、致されたかあ...」とた
お、退つて倒れる
重藏「げッ、げッ、ツ、ツ、ツ、
お聲は...」
佐十郎「ま、松川...、む無極齋
ぢやあ、う、う、う、う、
折から此處へ手を取つて馳せ
つた男女二人
男「お、遅かりしか...、くッ
口惜しや...、ちッ父上ッ、し
真十郎にござります
女「お、...、大先生、お小夜奴
にござります、し、
ツ、ツ、ツ、ツ、ツ、ツ、ツ、
と、抱き起して両方より絶る
佐十郎「う、う、...、
か、...、あ、
真十郎「し、父上あ相手はナ
何者にござりまするかッ
佐十郎「む、む、
此の様を茫然と傍にあつて眺
めて居た重藏は、つ、と三人の
小前に正しく坐り両手をついて
重藏「ツ、ツ、その相手は...」
二人「ぬ、ツ、...、
聲に驚き、開をすかしてきつと
なり、お小夜は手早く懐劍を抜
き真十郎は柄に手をかける
重藏「かく申しまするジ、重藏
奴にござります...」
お小夜「ぬ、...、ツ、
真十郎「...、ナ何がナ、な
んとツ、...」と立上り重藏を
仔細かき下して「イ如何なる
大恩重なる師に、ヤ刃を向
けるとは言語道斷、かッ斯く
なる上は一子、真十郎が相手
だッ、たッ、ツ、ツ、ツ、
お小夜「...、...、
かッ、これお弟...」
佐十郎「う、...、
マ、...、
の仇敵を、討つたのちや
あ、...、
三人「ぬ、ツ、な、...、
れ、...、
佐十郎「ミ、皆の者、
て、ヨ、ヨ、
と右手で左肩の傷口をおさへ
左手を地につけて身を支へ、苦
しい息の中からとぎれ、
様に語る。半月が四人を照らす
「今より十四年前、武士の意地
から稲村氏を討つたは山田佐
十郎、今は名を替へ此の松川
無極齋、去年箱根で御身等の
危難を救つた時、名乗つて討
たれんと思ひしが、重藏殿は
目界の見ゆる重き眼病故、事
を明さず躬が道場に於て來り
お小夜殿の心盡しに眼病も治
り、磨けば牙ゆる御身の腕、
我が編出せし無極秘劍を傳授
致すは此の人と、心をこめし
効あつて、今は師に勝る腕と
なり、最早思ひ残す事もなく
我が導きて此の場の存儀
それと必殺に臨まざれば傳授
爲し得ぬ我が秘劍、それとこ
れとに覺悟の上ちや判つたか
三人「ぬ、...、
ごさりましたか...」一同
涙を拭く。お小夜、重藏の處に
寄つて來て
お小夜「これ弟、か覺悟はよい
か...、と懐劍を取り直す
重藏「...、念には及びませぬ、
血糊のついた刀を引き寄せる
無極齋「コッこれ兩人ッ、ナ、
なんと致す、み躬のし、心中
が判らぬかあ、無極秘劍を讓
つたはナ、何が爲めぬ、
真十郎「早まり召さるな、お二人

沙時

共、それとも父上を夫死に致
されるか...」
二人「...、は、
無極齋「う、重藏殿は本望を
ト遂げられた、む、う、
からは、歸國なし一家を立
てられい、ツ、
お小夜は、ふ不束な者なれど
悴とス、末長...」
お小夜「ぬ、...、
見れば視線がたり合ふ、二人
共慌て、下を向く
無極齋「お聞き入れクッ下さ
るかあ...」お小夜の手を掴む
お小夜「ご御もつたいのうござ
ります...」無極齋、真十
郎の手を取つて、震へる手つき
で二人の手をつなぐ
無極齋「む、...、
れにて思ひ残す事、
更になし、ツ、ツ、
が見ゆるウ、ツ、
ぢやあ...」後に倒れるを
助け起して
重藏「だ、大先生ツ、
して下さませッ
真十郎「父上様あッ
お小夜「老先生様あ...」
無極齋「ウ、ウ、
真十郎「は、は、
かあ...」
三人「...、南無阿彌
陀佛...」幕

短歌

四時雑詠
鐵城 野人
月は佳し樹間の月や水の面の
月を眺めし友ぞ戀しき
天の星一つ下りて花と咲け
人の情を知る花ぞほしき
變りたるものを索めて見渡すに
けふはコルゴに霞渡れり
山を燒く灰の降り來て
手を擧げ走る雪知らぬ子
虫の聲今宵も繁げし友呼ぶか
友は戀しき余もなかなむ
バラの花只一輪のバラの花
花見し今宵早寝出来なん
ハモニカの音去りたは若人の
集ひ果てたる土曜の夜半

殖民小唄

山端 月子
わたしや稼ぐよコロノの娘
朝は早よから辨當抱へ
路の小草の露踏みしめて
行けば小鳥がほがらに唄ふ
わたしや憩ふよマモンの蔭で
黒い手足をつくく眺め
遺棄ない胸悶へて居れば
まこと盡せと小鳥が言ふた
あしや踏るよ日は暮れ果て
南十字の星や瞬いて
誓ひ交した今宵の逢瀬
村に灯がつきやこの胸踊る

Dr. K. DAIAN MEDICO-OPERADOR-PARTEIRO ARAÇATUBA
大庵喜八
産科 婦人科 外科 内科
電気治療
北西線 アラサッパ
大原兄弟商會裏隣

ノロエステ驛前
貸自動車
番號 一三六號
芳賀仁吉

ソソンペ
ソツレグロブ
市スリ線西北
一五街マカ、ダ、スイル
助市平宮

東京式 横濱堂
北西線プロミツソン驛セルチツベ街
岩城富士作
雜貨 小間物
穀物 仲買
上田商店
武田商店
Casa Takeda
Armazem de Secos e Molhados S.TAKEDA LINS
武田商店
レコード藝術の粹を集む
御満足は弊店直輸入の
ニュー、プロセスから
聖市 中矢商店
郵 函 二一九九五

大衆科學

人造肉と

人造食物について

高田亮平

皆様に酵母といふものを御存じてあらう。酵母は英語ではイースト、ドイツ語ではヘーフェ...

酵母の成分はよく肉類と似てゐるがために、これにタンストライシユ即ち人造肉と命名して肉の代用品として、國民に推...

御料理 すし そば うどん

コンデ坂上三十三 あをやぎ 電話 二一九四八

御視察の際には是非當館へ

旅館 バスト ス ト ス

バストス移住組合殖民地 吉永宗義

Bar Mikado CaféExpresso Caixa, 401 Biriguy

バーカド 山内一久

Casa TAKEUCHI Cafelandia -Penna

竹内商店

HOTEL Estação Y. Murakami Marilia C. P.

ホテル エスタソン

Hotel e Bar -Alto Cafezal-

ホテル 東洋

BAR Conceição M. Morita Villa Conceição Caixa, 390 -BIRIGUY-

森田經營

Hotel Kumamoto Caixa, 208 Est. Araçatuba

旅館 熊本

Hotel Yamamoto

日本旅館

HOTEL PROGRESSO

澤尾旅館

HOTEL CENTRAL S. Ishigami ARAÇATUBA

中央ホテル

Casa Parana CAIXA, 103 DUARTINA

安元商店

Casa Sato ARMAZEM E HOTEL Pennapolis

佐藤商店

旅館 伊勢屋

伊勢屋

Hotel Japonéz

日本旅館

Casa Sato Est. Fructal Variante Araçatuba Jupia

佐藤商店



齊藤時計修繕所

FERRARIA de T. ONISHI -LINS-

大西鐵工場

Casa HIGASHI Pennapolis

東商店

大東商船會社 聖市旅館同業組合

東京館 大和 上地 ときわ 旭 末廣 小川



三共商會 潮ホテル

CASA OHARA OHARA & IRMAOS, Machina de Beneficiar Arroz ARAÇATUBA

精綿 精米及 フバ製粉所 大原兄弟商會

經濟

好況だった本年度 養蠶業

昨年春蠶から今年秋蠶にかけては、聖州邦人養蠶家は、何處も有封に入つた。左にアパイヤ州邦人の養蠶界現

有望！驚くべき 伯國のみかん栽培

輸出向きの伯國密柑は一九二七年度迄聖州物が百三万六千株で、三億五千万個を産出したが現在では七百六十万六千

一九二七年度輸出は六億四千七百七十万個で價格五十六万六千五百五十二元

一九二八年度は四億三千万二千七百三十八株とされて居る。パイヤ州の密柑は六十三エクタ

一九二八年度伯國ミカン總輸出高は九億八千七百七十五万八千個で、一萬〇〇三〇〇トス

一九二八年度伯國ミカン總輸出高は九億八千七百七十五万八千個で、一萬〇〇三〇〇トス

在パウリス市附近 邦人家族數

本誌三線年鑑調査部の調査によれば、最近の在パウリス市附近邦人家族數は百八十七家族九六

伯國鳳梨の歐洲新進

伯國鳳梨の歐洲新進は、昨日「リパブル」廿二日電、昨日伯國アパイヤ州の鳳梨初荷入

國債現在高

大蔵省發表によれば昨年末現在の國債は内國債四、四五八、八二二、三六九千圓

高知を樟腦國に

二月から收納を始める高知縣が樟腦栽培の適地であることは、専賣當局でもつとに

改善策

大蔵省ではかねて海外拓殖事業の發展方策について調査考究する一方拓殖懇談會などにも諮

罰金

伯國聯邦銀行總監査局は、去る二十三日附公報を以て、ナシヨナル、シチ、バンク、オブ、ニ

拓殖金融の

大蔵省ではかねて海外拓殖事業の發展方策について調査考究する一方拓殖懇談會などにも諮

吉井商店

北西線ビラギキ驛ペラコンセイソン市街地 内外雜貨類 乗合自動車

珈琲先物相場

廿六日 サントス 二月 渡シ 二二、七七〇

砂糖相場

三月 渡シ 四七、〇〇〇 四月 渡シ 四七、〇〇〇

米

精米 四八、〇〇〇 精米 四八、〇〇〇

山口商店

ノロエスタ線ビラギキ驛 郵函……二一七

自動車業

御視察や郊外散歩には地理に 詳しい弊車を御用以下さい

有田商店

北西線グアキアラ驛 郵函八十二番

丸山丈夫

ノロエスタ線ビラギキ驛 郵函 二七二番

吉田兄弟商店

ノロエスタ線ビラギキ驛 郵函 二七二番

Various advertisements for businesses like Casa Japoneza, Missão Japonesa do Brasil, and others.

Advertisements for Typographia Progresso, T. Takara, and other services.

Large advertisements for Gil & Schüeler (Chevrolet), Casa Ichinose, and Casa Arita.

聯邦 大統領選舉日

明三月一日は伯國聯邦次期大統領の選舉投票日である。現政府與黨たる共和黨では聖州現統領ジュリオ・プレステス・デ・アルブケルケ氏を大統領候補者と聲明してゐる。

行き悩み

海興アニウマス農場で、腕をふるつたと評判された、信州人矢崎節夫氏は、先達、突然、アニウマス耕地支配の椅子から飛出してしまつて友人の問合せに「来るなら来て見ろ」と叫び出す。...

谷垣氏夫妻就任

リンス學園にては豫て教師には正七位に叙せられ同年六月兼舎監たるべき人物を物色中の渡伯された由である。尙千代子館原口七郎氏及び時報社長黒石學校卒業後數年小學校訓導を勤清作氏等の斡旋によりモデアナ線セントキリノ驛サンタ・イ...

北島書記官一行

ソコバナ線に 今月十六日着後或る一部の人員達から直ちに北西線邦人殖民地を巡視し、金に困り切つた殖民の請願救済に耳を傾け、例の三七五万圓金融問題を具體化する様待ちにまたれた拓務省北島書記官は、期待者の希望を裏切事になり、去る二十日、同學園より、遠くソコバナ線の旅に上舎主石井三郎及會計遠藤直治兩つてしまひ、ノロエスタ線は後氏出芭、濱口領事に一層泣きを廻しとされた。...

今年度収獲豫想高

北西線各驛邦人殖民地の、今年度の収獲高はどうかであらうか。とさうして見る。誰に訊かして見ても「マチ／＼であつたり見當のつかぬ人が多い。記者は其の間の消息を索合して左の如き豫想収獲を發表して置く。...

第一モンソン 青年會役員改選

ソコバナ線第一モンソン植民地青年會は去る一月五日開催の定期總會に於て役員改選の結果左の諸氏に當選。...

共愛學園に 學費補助下附

北西線在ベナボリス驛邦人仲間にて建設中の在驛邦人子弟教育機關たる共愛學園は經營費も至極困難で、當局者間に、密々奔走中の処、バウル領事に、書記官は、期待者の希望を裏切事になり、去る二十日、同學園より、遠くソコバナ線の旅に上舎主石井三郎及會計遠藤直治兩つてしまひ、ノロエスタ線は後氏出芭、濱口領事に一層泣きを廻しとされた。...

ワラシダ

聖市水曜會の婦人連も、ベチヤクチャと、裏崩長屋のお神式だ。と先週の日伯紙は、ベチヤクチャと報じて居ました。あの記事が水曜會員のお一人を奥様として居る、ワラシダ時報紙によつて、報じられました。...

道聴途説

リンス日本人會會長リンス學園父兄會々長長谷谷商會主人といふ隨分長々しき肩書の持主主谷定次郎氏の百歳の事に熱心であることは有名だが、特に學園問題と來ては更に大馬力を加へた熱心さで、之には敵も味方も感服してゐる。...

パウルスタ延線

ドアルチーナ驛福壽殖民地地籍民會では二月十一日總會開催役員改選の結果左の如し。...

柴山勘次郎

ひたし 年齢十五才の女中二三人 希望者は左記へ 委細面談。...

Moreira, Viegas & Cia. Compra-se Cereaes Grande. Escala. em Promissao. 當地ニ於テ縁故深キサンパウロ市モレラ・ブエガス・コンパニヤ出張所ヲ左記ノ所ニ移轉開設仕候ニ付此段謹告仕候。...

矢部洋服店 農産物の仲買 委託販賣、保管等 サントス 與那嶺仁五郎

日本醬油に勝る 菊池兄弟醬油店

滑稽 頼智 第五十三席

先刻はまた不潔な物だ、汚いものなど、申しまして失禮いたしました、何うぞ今日は御ゆるくりとお遊び下し置かれませうやう

と屠蘇酒、精進料理など取り出す、ぜん師はこれを見て、
「コレ、若い者、魚類などがあれば、持ってきたお呉れ、斯様な精進物では人体の肥料にならん様ぢや」
若「これはしりぞせん師様には御香を」

「オ、食うとも、兎角世間の生臭坊主は、魚肉を食はぬといふが、拙僧は到つて下さるや持つて来い」
皆の者は驚いたが、それからいへ、と看などを持つて来る、これを甘い、とお上りになる、
現今はさて置き、當時は随分ハケ間敷かつたものだ、一休ぜんしは地獄太夫を相手に山海の珍味をもつて酒を上つて居られたがそのうちに日も暮ってしまった。
「サア、今日は大層酔うたから最う寝やう、太夫を敵方に寝やうかナ」
若「これはしりぞせん師様、一「イヤ、拙僧は遊女を買ふつもりで来たのぢや、皆の者決して心配するな」
といふ具合でその夜は鍵屋のうちでお泊りになる、明ければ正月の四日だ牡丹花向ハクは地獄太夫にむかい、
向「時に太夫、今日は一つお前と問答をやらう」
地「ハイ何んなりともお問ひ下さいませ」
向「ぜんしその席にあつてどうぞ行司を願ます」
一「ア、ハ、問答かな、ヨシヨシそれは面白い、キレ」
この時向ハクは、
向「汝禿の時より嘘をつくは如何に」
禿師は側でお聞きになつて、
一「尙拍妙な問答ぢやナ……」
この時太夫は、

遊里の習ひのなほはいにこそと歌をもつて答へた、この歌の意味は遊里なれば稼業柄、幼い時から師の風を見習ひ、商賣の上で嘘をつくのだから仕方がないといふ意味である、尙拍尙も尙、汝、多くの客の身上をへらせ果ては命を落さすは如何すると太夫は、
戀すれば何か賈の惜からん果ては命も惜まざりけり
と答へた、惚れたら財産も名譽も命もかへり見ないのが人情であるといふ事を答へた、尙拍もボン、答へられるので、少し顔を赤らし、
尙「然らば汝、多くの客を振り廻す如何に」
太夫は、
定まらぬ人の心のむら雨は空さへ晴れば
などかふるべき
これは詰まり客が来て生意氣な事をいふから、遊女が嫌ふのである、おとなしくさへして居れば稼業柄決して不扱をするといふ事はないといふ答へ、尙拍は尙も續いて
尙「起請誓紙に偽りを書くは如何に……」
心には果てしもあらじと思へども
人目の間は如何にかよはむと答へた、いくら問かけても水の流る、如くスラ、と答へるので仕方がないから今度は尙「然らば禿師や吾れ」の如き坊主や、老人でもツイうかうかと遊びに来たりするはこれ如何に……」
随分苦しい問いだ、太夫は、ニツコリ笑ひ
地「これはしりぞ向拍様、斯うでございませうか、
夜ながりみの道は
なかに、
思ひしるべき花の色里
このくるわお越しになれば、
武家は武家、御出家は御出家、

師つて居るのは坊さんで、他の女共は只骨ばかり輪にかいてある、これは禿師は自由の體、女共は身賣をして居るから身賣つて骨ばかりのだ、とて地獄太夫はやがて禿師にむかい、
地「禿師様一つお願ひがございませう」
一「なんぢやその願ひといふのは……」
地「餘の事ではございませぬが、妾のウチカケの裏は白地の絹でございませぬが、何卒これにお筆をたまわりたく存じます」
一「ア、ヨシ、かいて遣はさう」
地「早速御承知有難う存じますと早速主人長兵衛にも話すと早退して度々幸ひ、何か一つかいて頂いて宜からう」
といふので早速一枚のウチカケを座敷へ運んで来た、ナカ、立派なもので太夫の好みとして金糸銀糸の縫様は背中一面の罽毘大王、牛頭馬頭の鬼から淨瑠璃の鏡、血の池、針の山等を残らずかいてある。
一「ア、なる程これへかけよう」
と禿師はやがて筆をとり、ウチカケを裏へかへして襟から一寸程下かつた所へスツと丸い物をおかきになつた、その下へ横棒を二本引いた、鍵屋長兵衛始め一同の者は驚いた、何しろ千両も投じて拵へた、禿師の裏へ落書をせられてはたまらぬ、
一「何うぢや長兵衛これで宜いか」
長「エ、伺ひますそれは一体何んでございませう」
一「これが解らぬか」
長「ハイ、これは角盤の形ぢや」
一「「エ、それは何んの事でございませう」
一「これは女の悟道の戒め悟道長「エ、エ、これは何んの事でございませう」
この角盤といふものは、彼の鐵漿などつけるときに用ゆる道具で、耳盤の両方に角が出て居る地獄太夫は元より悟道に這入つて居る女であるから、この繪を見て喜んで、禿師は再び筆

と大勢の女を呼び集め、三味太鼓で飲み初めた、禿師も追ひ追ひ酔ひがまわつて来て、扇をもつて立ち上り踊りはじめた、この踊りが目なし踊りと云つて、一「釋迦殿が眼なし殿になられても同じく踊つて居る、この圖は昔の醉菩提と云ふ本に出て居る

士農工商何れの人も皆差別をしてもてなしをするから、皆面白くおかしく遊べるといふ意味である、又都々逸にも、
戀の關路は誰れしもおなじ
儒者も學者も踏み迷ふ
とある、これは眞實をうがうた小唄である、昔から英雄豪傑が、色の爲に身を亡ぼし、女の

Livraria Craveiro
Completo sortimento de Livros escolares, objectos para escriptorio, Artigos photographicos e para pintura.
Avenida 7 Setembro 16—LINS
でもありませう
何ん器具用品
書籍用器用品
事務用器用品
その他
北西線 リンズ市アベニード セツタ
デセツタアプロ 一六

爲に城を傾けた試しは澤山ある唐の玄宗皇帝は楊貴妃の色香に迷ひ、祿山賊國忠のために世を取られ遂に馬嵬が原に於て楊貴妃を斬り蜀の國へ往つて食客をしたといふことが、我國でも新田義貞が句當の内侍にその他婦人の爲めに國を亡ぼしたなどは澤山ある、尙拍先生はくらくら問かけてもサン、云ひまわられてしまつた、一休禿師は側から
一「最うよせ、幾等やつても尙拍は逆も勝てない、それよも酒ぢや、これから一つ華美に飲もう女共を呼べ」

日乃出は安い
店は日乃出
▼棉花及雜貨什賣
▼客用、貨物用自動車
日乃出商店 阿久根國雄
アベニード
メルカード賣場

BAR KITICE
Lins
心地良き
簡易な
御休憩所
パール
キチセ
吉瀬軍平
ノロエスチ線
アベニード 七、デ
セツタアプロ二

とつて、その角盤の脇へ、一つづつ年をへるほどよわいごし
たゞたつものは月日なりけり
と記された、地獄太夫は大いによろこび、
地「誠に有難うございませう、御意見の歌、身にしみましてございませう」
長「太夫、お前にはこの歌がわかるかい、わしとんと解らぬ地「ハイこのよわいごしは壽命のこと年をとつて壽命がみじかくなる只立つものは月日で、光陰は矢の如くであるが何時までも遊女をしておつてはつたらぬ女一代に夫を一人持つもの早く遊女をやめて正業につけといふ御意見の歌でございませう」
長「フム、左様か、イヤどうも恐れ入りました」
感心している、尙拍もぜん師のお論しが上手であると思つていへ、
長「誠にどうも有難う存じます手前も斯様な稼業をいたして居りますが、許より一日も早く止めたいと思ひます、ぜん師様のお言葉に従ひ手前も只今から心清めませう」
と太夫とともく涙を流してよろこんでいる。

とつて、その角盤の脇へ、一つづつ年をへるほどよわいごし
たゞたつものは月日なりけり
と記された、地獄太夫は大いによろこび、
地「誠に有難うございませう、御意見の歌、身にしみましてございませう」
長「太夫、お前にはこの歌がわかるかい、わしとんと解らぬ地「ハイこのよわいごしは壽命のこと年をとつて壽命がみじかくなる只立つものは月日で、光陰は矢の如くであるが何時までも遊女をしておつてはつたらぬ女一代に夫を一人持つもの早く遊女をやめて正業につけといふ御意見の歌でございませう」
長「フム、左様か、イヤどうも恐れ入りました」
感心している、尙拍もぜん師のお論しが上手であると思つていへ、
長「誠にどうも有難う存じます手前も斯様な稼業をいたして居りますが、許より一日も早く止めたいと思ひます、ぜん師様のお言葉に従ひ手前も只今から心清めませう」
と太夫とともく涙を流してよろこんでいる。

ゼツトリ町の親切本意の
日本人御宿は
山下藤太郎商店へ

Laboratorio Chimico Phco. Japonez
RUA ASSEMBLÉA, 31
SÃO PAULO
Pomada Pixinol
皮膚病藥ハ
軟膏ニ限ル

Dr. H. Saito
MEDICO
士學醫
等 藤 齊
街ヤシロデイフンコンイ市ルウバ
五三……六
醫門專科眼
憲 藤 加
八五街マダスイル市スソリ

大 阪 商 船 社 會
▲早くて確實な
優秀の大型客船
(命令定期毎月一回)
●日本より
モンテビデオ丸 三月二日 リオ着
三月三日 リオトス着
●日本へ
マニラ 三月十日 サントス發
三月十二日 リオ發
▲有名なバナマ運河
北米諸港を御見物の好機
▲御乗船切符他手續は弊社指定仲次旅館型市の旭、小川、末廣、常盤、東京館上地、大和及サントス市の成功館、湖ホテルが無料で親切に取扱ひ致します。
Anunes dos Santos & Cia.
Sao Paulo: Rua Barão de
Imperatriz, 39-41-A
Santos: R. do Comercio, 84
▲日本より家族御呼寄の方は船賃を當地で御拂願へば(日本サントス間乗船切符圖書)を發行致します。詳細は左記へ御せらる會願ひます
サントス駐在員 酒 寄 守

タムシ、土マケ、かゆみあるデキモノ
フエリダ等寄生性及一般皮膚病の特効藥
ビニシール
軟膏
販賣店
有名なファルマシア
邦人商店
大河内藥化學研究所
T. Okochi
Telephone 2-4818